

2022年室内環境学会学術大会 大会長奨励賞 優秀ポスター賞(学生会員) 受賞の言葉

P-43 新型コロナウイルス感染症蔓延時のオフィスにおける
感染症対策と執務者の満足度

浅岡凌¹⁾, 海塩渉¹⁾, 鍵直樹¹⁾, 林基哉²⁾, 澤地孝男³⁾, 上野貴広⁴⁾

1) 東京工業大学 2) 北海道大学 3) 建築研究所 4) 早稲田大学

このたび、2022年室内環境学会学術大会で発表いたしました“新型コロナウイルス感染症蔓延時のオフィスにおける感染症対策と執務者の満足度”にて優秀ポスター賞（学生会員）を賜りましたこと、誠に光栄に存じます。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、オフィスでは様々な感染症対策が推奨・実施されてきました。このような感染症対策はオフィスの室内環境を物理的に変化させるだけでなく、そこで働く執務者の環境満足度にも影響すると考えました。

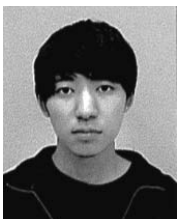
このような背景のもと、本研究は、オフィスの感染症対策と執務者の環境満足度のうち、特に空気感染対策と温熱環境・空気質満足度に着目し、オフィスでの対策の実施と執務者による認知が環境満足度に及ぼす影響を明らかにすることとしました。

今回の調査では、22棟のオフィスビルで働く632名の執務者を対象として、オフィスでの感染症対策と環境満足度に関するアンケート調査を行いました。そして、得られた回答をマルチレベルモデルに基づいて統計分析することで、オフィスでの対策の実施と執務者による認知による環境満足度への効果をそれぞれ推定しました。

結果として、温湿度・CO₂濃度の見える化や空気清浄機の設置が行われていることを認知することで、執務者の環境満足度が向上することを確認しました。オフィスの環境満足度は、執務者の快適性や生産性との関連が報告されているため、オフィスでの感染症対策を執務者が認知できる形で実施することで、対策の本来の目的である感染予防に加えて、快適性や生産性向上などの効果が期待できると考えます。

最後になりましたが、本研究の遂行に多くの助言を頂きました方々に衷心より感謝申し上げます。

……著者データとプロフィール……



浅岡凌
(あさおか・りょう)
東京工業大学
環境・社会理工学院
博士課程1年



海塩渉
(うみしお・わたる)
東京工業大学
環境・社会理工学院
助教
博士(工学)



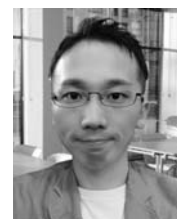
鍵直樹
(かぎ・なおき)
東京工業大学
環境・社会理工学院
教授
博士(工学)



林基哉
(はやし・もとや)
北海道大学
大学院工学研究院
教授
工学博士



澤地孝男
(さわち・たかお)
建築研究所
理事長
工学博士



上野貴広
(うえの・たかひろ)
早稲田大学
理工学術院
講師
博士(工学)